

モニタリング結果報告書 (令和3年度)

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/ (現在は、次期指定管理者にて運営)		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(昭和53年4月25日)		
指定管理者名	東高根森林公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横浜川崎治水事務所 川崎治水センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。	
<ul style="list-style-type: none">・利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。・コロナ禍において公園利用者が増加している中、感染症対策、ナラ枯れ対策及び植栽管理を適切に実施することで利用者の安全に努め、利用状況及び満足度は最高評価のS評価となっている。一方、収支については、前述の対策に想定以上の支出が発生したことで、マイナス収支を計上し、B評価となっている。・次期指定管理者においては、風致公園として、管理と保全のバランスを考えた植物管理の実施並びに史跡と天然記念物の価値を活用した利用促進を積極的に企画するなどの取組に期待したい。	
<各項目の詳細説明>	
◆管理運営等の状況 提案に基づいた年間120回以上のイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、実施は3回に留まった。ただ、新型コロナウイルス感染症対策のため、イベント開催が難しい中、感染症対策を講じたうえで開催し、公園利用者の満足度向上に取組んでいることは評価できる。	
◆利用状況 コロナ禍における屋外における憩いの場として本公園を訪れる利用者が増加し、2年連続で利用者数40万人を超えた。開園以来最高となった前年度を更に上回る来園者数を記録し、対前年度比105.9%、目標達成率123.6%を達成し、S評価となった。	
◆利用者の満足度 指定管理者による接客研修を全員受講するなどサービス向上に努めたことから、県が実施している利用者満足度調査では、上位2段階の回答割合が96.1%であり、S評価となった。	
◆収支状況 利用者増加に伴い、駐車場収入及び自販機収入がプラスとなったが、感染症対策や近年公園内で多発しているナラ枯れ対策として、トラップ設置やナラ枯れにより倒木の恐れがある樹木の伐採を実施し、維持管理に掛かる支出もプラスとなったため、収入合計/支出合計の比率が98.97%となり、B評価となった。	
◆苦情・要望等 前年度は植物の剪定、除草の要望が数件あったが、令和3年度は植栽管理に積極的に取組んだことで、同様の要望が減少し、改善が見られた。特に大きな苦情はなかった。	
◆事故・不祥事等 ・維持管理作業中に公園施設(転落防止柵)を破損する事故が発生したが、速やかに復旧を行った。 ・利用者が木製ベンチに座った際に、足にとげが刺さる事故が発生したが、速やかに当該ベンチ及びその他の園内木製ベンチのやすり掛けを実施し、再発防止に努めた。	
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。	
◆その他 以上を総合的に勘案し、令和3年度の3項目評価についてはA評価となった。	

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況	利用者の満足度	収支状況	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。 S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
	(項目6参照)	(項目7参照)	(項目8参照)	
A	S	S	B	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	県と指定管理者との間で定例打合せを行い、月毎の業務実績及び計画の確認と課題の共有を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多種多様な生物の有する豊かな生態系の保全・育成を行う。	湿生植物園のヘドロの浚渫やシラカシ林内の下草刈りを実施し、良好な環境を維持している。	芝生管理について施肥や育成保護に努め、裸地化範囲を回復することが望まれる。
公園の魅力（歴史・文化・自然）を教材とした学習の機会を創出する。	新型コロナウイルス感染症対策のため、歴史・文化体験型イベントの実施は0回、自然体験型イベントも多くが中止となっている。一方、スタンプめぐりについては、4～8月、11～1月、3月の土日祝日に実施している。	新型コロナウイルス感染症対策のためイベント開催が難しい中、感染リスクが少ないイベントについては、対策を講じたうえで開催し、公園利用者の満足度向上に取り組んでいることは評価できる。
専門技術や知識を持つ方々と連携し、学習内容やプログラムを充実する。	外部講師やアマチュア団体等と連携した利用促進は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から実施していない。	
地域に活動情報を計画的に提供するほか、地域活動に積極的に参加する。	小中学校の総合学習やインターシップ、防災訓練や高齢者福祉施設との積極的な連携は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。一方、収穫感謝祭は、待機列の間隔をとるための白線引きや、マスク、フェイスシールドの着用、道具の消毒を徹底して開催した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
有料駐車場事業による利便性の向上、安全確保、緑化協力金の徴収を行う。	提案どおり実施している。
既存自動販売機の継続設置。	6台を継続。提案どおり実施している。
イベントでのオリジナルグッズの販売。	提案どおり実施している。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
S	

	前々年度	前年度	令和3年度
利用者数※	388,670	408,417	432,460
対前年度比		105.1%	105.9%
目標値	350,000	350,000	350,000
目標達成率	111.0%	116.7%	123.6%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	本報告書では、県による休日3回、平日3回の計6回調査の結果を使用する。 指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に満足度が高かった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 127 / 133 = 95.5%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	91	31	1	3	1	127	
回答率	71.7%	24.4%	0.8%	2.4%	0.8%		
前年度の回答数	87	45	1	4	0	137	
前年度回答率	63.5%	32.8%	0.7%	2.9%	0.0%		
回答率の対前年度比	112.8%	74.3%	107.9%	80.9%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和3年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	47,024	0	8,497	駐車場：6,078 自販機：2,419	55,521	55,521	0	
	決算	47,024	0	7,954	駐車場：5,504 自販機：2,450	54,978	55,056	-78	99.86%
前年度	当初予算	49,586	0	8,497	駐車場：6,078 自販機：2,419	58,083	58,083	0	
	決算	50,315	0	10,016	駐車場：6,708 自販機：3,308	60,331	60,052	279	100.46%
令和3年度	当初予算	49,586	0	10,110	駐車場：7,100 自販機：3,010	59,696	59,696	0	
	決算	49,586	0	12,149	駐車場：8,942 自販機：3,207	61,735	62,378	-643	98.97%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 令和3年度 / 前年度 / 前々年度 /	(単位:千円)
---	---------

<備考>

<p>【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p> <p>②令和3年度の対応状況 新型コロナウイルス感染症の影響等に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照</p>

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	メール	1 件	池の清掃要望	清掃を実施した。
職員対応		件		
		件		
事業内容	電話	1 件	駐車場の待機渋滞対策の要望	警備員を配置し、対応した。
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
10月5日	①指定管理者が委託する業者の伐木作業中に、伐木が園路の転落防止柵に衝突し、当該柵が破損した。負傷者はいない。 ②10月5日に、電話及び報告書で確認。 ③指定管理者にて補修済。 ④無 ⑤原因：樹木が枯死しており、伐木作業時に想定外の位置で折れたため。 費用負担：指定管理者委託業者の保険にて対応。 ⑥無
11月12日	①利用者がベンチに座った際に、足にとげが刺さった。 ②11月12日に、電話で確認。11月29日に、報告書で確認。 ③当該ベンチ及びその他の園内木製ベンチのやすり掛けを実施。 ④無 ⑤費用負担無。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。